

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域話題を、皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

市政施行10周年を記念した「第2回地方創生フォーラム～プ
 ラチナ構想スクール@東松島～
 では、鹿児島県鹿屋市柳谷自治
 公民館(通称「やねだん」)の公民
 館長豊重哲郎さん(74)が地域
 再生～行政に頼らない感動の
 地域づくり」と題して体験談を
 基に講演を行いました。ビジネ
 ス感覚と地域経営学を共有し、
 情熱で人を動かす大切さを説
 いていました
 (8月31日、市コミュニティセンター)



情熱と感動の地域づくりを

首都圏で東松島市をPR



関東圏で活躍している企業を対象に、宮城県内の工業団地や宮城県の投資環境など、企業立地に関する情報を紹介する宮城県企業立地セミナー(同実行委員会主催・県および県内33市町村などが参加)が開催されました。
 会場には、企業関係者ら約370人が集まり、宮城県の復興や投資環境に関心を高めていました。参加企業との情報交換会では、阿部市長が参加者と名刺の交換やあいさつを交わし、また石巻広域圏企業誘致協議会のブースでは本市と石巻市・女川町の2市1町の物産の紹介・提供などにより、東松島市の魅力をPRしました(8月4日、東京都中央区日本橋・ロイヤルパークホテル)

巨大グラブ作りに挑戦



奈良の大仏に合わせた「世界一大きな野球グラブ作り」が東松島夏まつりの会場で行われました。特製のグラブには牛16頭分の革が使用されており、完成品の大きさは約3.6mのギネス記録になります。会場を訪れた子どもたちは指に当たる部分に皮のひもを通し、生地との縫いあわせを体験しました(8月22日、蔵しっくパーク)

東松島市民開放講座



東松島市民開放講座「東日本大震災を語り継ぐ」未来への伝言」には石巻西高校の生徒や地域住民ら約30人が参加し、民生児童委員の内海牧子さん、石巻日新聞記者の外畑健一さんが語る震災の体験談や教訓に耳を傾けました。講演後は参加者全員で2人の体験談を振り返り、初めて知った事実や今後に生かしたい知恵などを話し合いました(8月21日、石巻西高校)

震災の教訓を活かす

長期派遣職員も地場産品紹介 ～東松島夏まつりの盛り上げに一役～



復興支援で、交流のある市町の皆さんが今年も「東松島夏まつり」に参加し、長期派遣職員の皆さんも出身地の産品を販売しました。このうち埼玉県富士見市(写真中)はジャガイモの直売や子どもを対象にした緑日遊びコーナーを設け、北海道北見市(写真右下)はハッカを使用した菓子やオニオンスープを紹介しました。山形県東根市(写真左)のさくらんぼシュークリームや玉こんにゃくには長蛇の列ができたほか、福岡県豊前市(写真右上)のバラエティに富んだ農産加工品の試食も人気を集めました(8月22日、東松島夏まつり主会場)